

MBox Viewer クラッシュノート

MBox Viewer は広範囲にテストされていますが、稀にクラッシュが発生する場合があります。インストールルートフォルダにある標準の `mboxview.exe` 実行ファイルは、実行例外を処理できません。`mboxview.exe` がクラッシュした場合は、`ReleasePlusStackTrace` サブフォルダにある `mboxview.exe` を実行して、問題のあるケースを再度実行する必要があります。

`ReleasePlusStackTrace` ディレクトリの `mboxview.exe` が強化され、実行例外をキャッチしてスタックトレースをダンプし、オプションで疑わしい生のメールデータをテキストファイルにダンプできるようになりました。

標準の `mbox` ビューアがクラッシュした場合は、ディレクトリを `ReleasePlusStackTrace` ディレクトリに変更し、`mbox` ビューアを再実行してください。

`ReleasePlusStackTrace` ディレクトリ内の `mbox` ビューアがクラッシュした場合、問題の診断に役立つ次の 2 つのテキストファイルのいずれかが生成されます。

`mboxview_UnhandledException_StackDump.txt`
`mboxview_UnhandledException_MailDump.txt`

SourceForge または github でチケットを発行し、生成されたファイルを添付してください。

`mboxview_UnhandledException_MailDump.txt` ファイルには 2 つの生のユーザー メールが含まれているはずなので、これらのファイルを確認して機密情報が含まれていないことを確認してください。

<https://sourceforge.net/projects/mbox-viewer/>
<https://github.com/eneam/mboxviewer>

注: `mboxview.exe` の両バージョンのパフォーマンスは基本的に同じです。ただし、`ReleasePlusStackTrace` ディレクトリ下の `mbox` ビューアは、メインディレクトリ下の `mbox` ビューアのクラッシュを解決する場合にのみ実行してください。